

セミナー開催の様子

2014 年 9 月 21 日 - 23 日

「第 11 回腎臓・透析医のための臨床研究デザイン塾」

本年もおかげさまで第 11 回腎臓・透析医のための臨床研究デザイン塾を開催し、無事終了することができました。厚く御礼申し上げます。

本年から開催前の事前学習、グループワークを重点的に実施することにより、2泊3日へ期間を短縮し開催することとなりました。事前学習を終え、迎える当日は朝から晩までハードなカリキュラムとなりますが、最終日のプロトコル発表を目標に突っ走ります。

終了後にはそれぞれが達成感と自信を得ることができるセミナーです。また、一緒に過ごした塾生同士のつながりもこれからの財産となるでしょう。

●授業風景



各グループの研究課題を発表し、塾生・講師・ファシリテーター、それぞれの目線からディスカッションを行い、発表へ向け全員でブラッシュアップしていきます。

●リクリエーション



塾では、講義・グループワークだけでなく、お互いのことを知り、2泊3日の合宿を乗り切る仲間との絆を深めるため、リクリエーションの時間も大切にしています。本年も、大人気「塾長バーテンダー」が登場し、リクリエーションの好成績グループにはオリジナルカクテルが振る舞われました。

●プロトコール発表会



気合を入れて臨む発表会。

審査員には塾長の福原先生をはじめ、斎藤明先生、秋澤忠男先生が駆けつけて下さいます。先生方からのご指導には現実の厳しさを思い知らされますが、同時に温かい期待を感じます。

●各賞の受賞

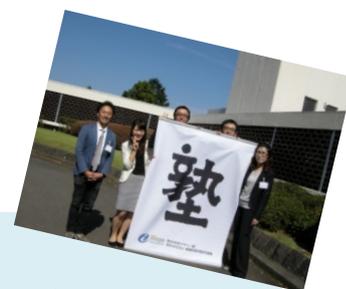
デザイン塾では、賞を2つ設け、それぞれの受賞者へ今後の臨床研究への取り組みに期待を込め副賞を贈呈します。「森の賢者」とも称されるフクロウには、広い視野のもと、真摯な研究姿勢を持ち続けて頂けるように、Baby Frog にはおたまじゃくしから姿を変え新しい世界へ踏み出す「赤ちゃんかえる」のように臨床研究デザイン塾を巣立っていく塾生に今後の期待と応援の意味が込められています。



右:最優秀グループ賞 副賞スワロフスキー製「フクロウ」
(最も優秀なプロトコール発表を行ったグループに対して授与される賞)

左:iHope International賞 副賞 スワロフスキー製「Baby Frog」
(塾におけるパフォーマンスおよび研究に対する姿勢において、最も優秀な成績をおさめた個人に対し、将来の臨床研究への貢献を期待して授与される賞)

□ 最優秀グループ賞



本年もそれぞれのグループが大変素晴らしい発表をされましたが、その中でも特に優秀な発表をされたチーム「Tasty」の皆さんが受賞されました!

□ 奨励賞



残念ながら、本年は iHope International 賞の受賞者はおられませんでした。今後のご活躍に期待を込め、平松里佳子さん、住田真紀さん、お二人に「奨励賞」が授与されました。

●参加者の声

塾にご参加された皆様のご感想の一部をご紹介します。

あなた自身にとって塾に参加して良かった点は？

- ・ 臨床研究に真摯に取り組む先生方に出会えたこと。自分とは異なる視点を持つ先生方のご意見をうかがえたこと。他の病院の現状を聞くことができたこと。指導される先生方と非常に気さくにお話しすることができたこと。
- ・ 臨床研究はあくまでも「目の前の患者さん」のためのものであるということを感じ、我々臨床医が発信していく義務があるのだということ強く感じました。
- ・ よい仲間ができた！それにつきます。
- ・ 同じようなモチベーションをもつ同年代の仲間ができた。臨床研究のことで困ったときに相談できる先生にたくさん知り合えた。グループワークを通して、ひとつの RQ を深めることができた。（一人で考えていただけでは思いつくことが難しいだろうさまざまな意見を聞くことができた）他の雑務に追われることなく、臨床研究について考える時間・そして空間を与えていただいた。
- ・ 事前学習のビデオ、資料のレベルが適切でわかりやすい。
- ・ 自分の抱える素朴な疑問を構造化し、具体的な研究計画を立てるまでの流れについて、本や講義だけでなく、グループワークや、沢山の優秀な先生方、塾生の方々による意見やアドバイスを通して、実践的に学ぶことができた点です。

次年度の開催は、2015年9月21日～23日を予定しております。

皆様のご参加をお待ちしております！